



▲追悼の辞を述べる市遺族会会長の青山郁博さん



上 平和に向けたメッセージを読み上げる香月さん(写真左)
下 地下ロビーで平和なまち絵画コンテスト応募作品を展示

10月2日 平和祈念戦没者追悼式

平和への思いを次世代へ

市役所で、平和祈念戦没者追悼式が行われ、遺族ら73人が犠牲者の冥福を祈り、平和を誓いました。第一部の追悼式では、全員で黙とうをささげた後、祭壇に菊を献花し、犠牲者の霊を慰めました。第二部では、沖縄派遣を通じて、沖縄戦について学んだ中学生平和大使5人が、平和に向けたメッセージを述べました。平和大使の香月芽優さんは「平和とは、みんなが笑顔でいられることだと思います。笑顔を広め、沖縄戦の真実を語り継いでいきたいです」と話しました。

10月15日 消防ひろば

消防士ってすごい

消防署共長出張所・DAIWA防災学習センターで、消防体験イベント「消防ひろば」が行われ、家族連れなど400人が参加しました。消防ひろばでは、救助訓練の見学やファイアーXによるステージイベントのほか、地震・消火・煙・消防車出動・救急模擬・消防ボウリングの6種類の体験をスタンプラリー形式で実施。消防隊員の救助訓練を見学した参加者は、隊員のテキパキとした動作に拍手を送りました。



▲消火体験をする子どもたち

9月26日 大府警察署(仮称)建設推進チーム 辞令交付式

警察署建設に向けてワンチーム

市役所で、大府警察署(仮称)建設推進チーム辞令交付式が行われました。市は、警察署の誘致を確実なものとするため、部署横断的な職員17人で構成するプロジェクトチームを結成。チームリーダーである危機管理課の近藤真一課長は「このようなプロジェクトチームに携わる機会は多くない。来年度、県による基本設計が実現するよう、チームとして県に協力したい」と意気込みました。



▲辞令交付を受ける近藤真一課長

9月24日 少年少女バドミントン教室

トップアスリートから直接指導

メディアス体育館おおぶで、少年少女バドミントン教室が開催され、市内在住の小・中学生など57人が参加しました。本教室は、トップアスリートから直接技術を教わることで競技の振興と技術の向上を図るとともに、子どもたちに夢と希望を与えることを目的に開催。2年ぶりとなる今回は、実業団チームの東海興業と北都銀行の選手が講師を務めました。子どもたちはトップアスリートらの試合を間近で見学した後、レベル別に分かれてレシーブなどを学びました。



上 東京五輪に出場した永原和可那選手(左)への質問タイム
下 東海興業に所属する選手(右)とペアで試合をする子ども



▲東京五輪に出場した松本麻佑選手(右)と試合形式で練習

9月25日 福祉・健康フェア

楽しもう 健康・安全・福祉のまちを

ミュージアムがせとその周辺で、新型コロナの影響により2年連続で中止されていた福祉・健康フェアが開催されました。障がい児・者太鼓サークル「ちゅ楽鼓」によるオープニングセレモニーで始まり、マジックショーや車椅子レクダンス、手話クイズなどのステージイベントのほか、健康測定や要約筆記体験などのたくさんのブースが立ち並び、会場は多くの来場者でにぎわいました。



▲約9700人が来場しました

9月23日 若者会議 政策提言発表会

若者を代表して市に提言

市役所で、若者会議の政策提言発表会が開催されました。無作為抽出された市内在住の14人の若者らは5月から話し合いを重ね、家庭や学校、職場以外の若者の居場所づくりや、若者の行き来が多い駅前での交流拠点づくり、既存の施設・イベントのプロデュースや情報発信について提案しました。参加者は「授業でまちづくりについて聞く機会はあるが、実際に参加できる機会は少ないので貴重な経験になった」と話しました。



▲まちづくりへのアイデアを発表する若者ら



#夕日に照らされる鞍流瀬川緑道沿いの彼岸花



#夕焼けと田んぼと新幹線のコラボ #北崎町



#田んぼとシラサギ #横根町



#アサギマダラ #二ツ池セリトナに飛来



#横根藤井神社祭礼三番叟 #華麗な舞を披露



#KURUTOパフェ #梨

大府のいいところを発見したら、「#obu_style」でどんどん投稿してね♡

健康都市おおぶの魅力をたっぷり発信中♡



市公式インスタグラム

アカウント名
obu_style



PLEASE FOLLOW ME!